

人と犬との
関わり方

犬と犬との関係は

「群れ」ではなくて 「家族」である



エヴァーグリーン・
ドッグ・フィールド
代表 森 一彦



オオカミの群れは直線的なヒエラルキーに基づいて、ひと組のアルファ・ペアの下にさまざまなベータがいて、さらにその下にガン

オオカミの群れは直線的なヒエラルキーに基づいて、ひと組のアルファ・ペアの下にさまざまなベータがいて、さらにその下にガンマやオメガまでいる。とオオカミ研究者は考えていましたが、これは捕獲されたオオカミを小さな囲いに閉じ込めて観察した結果得られたもので、血の繋がっていないオオカミたちは自然に組織化され、結果として力のヒエラルキーが作り出されたと考えられます。野生のオオカミの群れについての研究が進んでいるとは言えないのですが、現在では野生のオオカミの群れは、ほとんど完全に血縁もしくはカッパルの個体から成っていて、彼らは「家族」であって、トップの地位をめぐる争い「仲間集団」ではないと考えられています。ひとつがいの親が家族の方針と行動を決めますが、アルファというトップの座をめぐる争いを暗示する言葉はふさわしくなく、人間の親が家族のアルファでないように、彼らもまた群れの最上位者ではないのです。オオカミの支配的もしくは服従的とみられる行動は、力をめぐる争奪のためではなく、群れのまとまりを維持するために使われているものと考えられます。

年少のオオカミは年長のオオカミに近づくとき、尾を低く振って、体を地面すれすれに低くすることで、相手の生物的優位性を認め、年少のオオカミは当然従属的レベルに属することになります。人と犬との関係をアレクサンドラ・ホロウイツツはこのように述べています。「わたしたちと犬は、群れというよりも仲良し集団(ギャング)に近い。ふた

最近の動物行動学の学者、例えばアレクサンドラ・ホロウイツツやジョン・ブラッドショーの著作を読むと、『犬が人間を自分たちの「群れ」として見ているという解釈は誤りである』と述べています。「群れ」という言葉は「アルファ」犬とか、支配とか、服従とかいった概念を包含しています。その主張は犬の起源に由来しています。「犬はオオカミを祖先としている。そしてオオカミは群れを形成する。したがって犬は群れを形成する。」この概念が人と犬との関係に適用され、人と犬が暮らす家というものを、支配―群れ組織になぞらえるのはひどく魅力的な事です。特に人が優位の個体で、犬が劣位の個体であるというのが耳触り良く聞こえます。人が最初に食べ、犬は次である。人が命令し、犬がそれに従う。人が犬を歩かせる、犬に主導権を持たせてはいけません。確かに分かりやすく誰もが受け入れやすい概念です。

マヤオメガまでいる。とオオカミ研究者は考えていましたが、これは捕獲されたオオカミを小さな囲いに閉じ込めて観察した結果得られたもので、血の繋がっていないオオカミたちは自然に組織化され、結果として力のヒエラルキーが作り出されたと考えられます。野生のオオカミの群れについての研究が進んでいるとは言えないのですが、現在では野生のオオカミの群れは、ほとんど完全に血縁もしくはカッパルの個体から成っていて、彼らは「家族」であって、トップの地位をめぐる争い「仲間集団」ではないと考えられています。ひとつがいの親が家族の方針と行動を決めますが、アルファというトップの座をめぐる争いを暗示する言葉はふさわしくなく、人間の親が家族のアルファでないように、彼らもまた群れの最上位者ではないのです。オオカミの支配的もしくは服従的とみられる行動は、力をめぐる争奪のためではなく、群れのまとまりを維持するために使われているものと考えられます。

りからなるギャングだ(もしくはは三個体、四個体、あるいはもっといるかもしれないが)。わたしたちはひとつの家族である。わたしたちは習慣を、好みを、家を共有する。一緒に眠り、一緒に起きる。同じルートを歩き、同じ犬に立ち止まって挨拶する。私たちはギャングである。」犬が私たちの命令を聞き、私たちに従い、私たちが喜ばせることを説明するには、私たちが群れのアルファだと考えるよりは、私たちが彼らの食料源であるからだと考えるのが正しいようです。オオカミの生態や行動についての理解に誤りがあつたにもかかわらず、いわゆるオオカミ派のトレーナーたちは人間が群れのリーダーであり、規律と服従の強制に責任を負うと言います。これらのトレーナーは尿のかかった絨毯を見つけたら罰によって教育します。犬を怒鳴る事もあれば、押さえついたり、鋭い声で叱り、あるいは首輪を引っ張ったりします。オオカミはお互いを罰するのではなく、お互いを観察することによって学習すると考えられていますし、犬もまた人間の反応を鋭く観察します。罰を与えるかわりに、彼ら自身にどの行動が報酬を受け、どの行動が無駄に終わるかを感じつかせるならば、学習はうまくいくでしょう。望ましくない行動をしたら、飼い主の関心も食べ物も、何も貰えない。ちゃんと行動しなければ何も手に入らず、ちゃんと行動すれば全部手に入る。このプロセスを犬に理解させることが大切なことなのです。

遊ぶ 学ぶ かかり合う...Wan倶楽部
Evergreen Dog Field
 ドッグラン・ドッグカフェ・飼い方相談
 福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分
 ☎024-994-0811 | エヴァーグリーンドッグフィールド | 検索
 福島県19郡(保健第21号・訓練第5号(有) Evergreen Dog Field
 登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森一彦